

## ■ 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	3月31日 なお、中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日
1単元の株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	3167
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵送物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031
公告方法	当社のホームページ ( <a href="http://tokaiholdings.co.jp/ir/publicnotices/">http://tokaiholdings.co.jp/ir/publicnotices/</a> ) に掲載します。 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ■ ホームページのご案内



(免責事項)  
本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

**NEW** 5月より、リニューアルいたしました。

最新のお知らせをこちらに掲載しています。

個人投資家の皆様向けにまとめた情報は、こちらをご覧ください。当社の事業をわかりやすく解説しています。

TOKAIホールディングス

検索

<http://tokaiholdings.co.jp/>

## 株式会社TOKAIホールディングス

本社 〒420-0034 静岡県静岡市葵区常磐町2丁目6番地の8



# 株主通信

第5期 (2015年4月1日から2016年3月31日まで)

TLC — Total Life Concierge —



TOKAIホールディングス

## 目次

ご挨拶／株主の皆様へ	1
2016年3月期実績	2-4
2017年3月期業績予想	4-8
株主の皆様への還元について	8
IP16 “Growing” の着地見通しについて	9-10
株主優待制度／ホームページリニューアルのお知らせ	11-12
会社概要／グループ会社紹介	13
株主の状況	14

【証券コード：3167】

## 次なる成長期実現のために 中期経営計画IP16 “Growing” を 着実に遂行します

代表取締役社長 (CEO) 嶋田 勝彦



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、第5期（2015年4月1日から2016年3月31日まで）の株主通信をお届けさせていただくにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社グループは現在、中期経営計画「Innovation Plan 2016 (IP16) “Growing”」に沿って事業の運営を行っています。同計画の基本方針として、①顧客件数の増加により増収を継続し、収益力を回復する、②引き続き財務体質改善を進め経営の安定性を引き上げる、③継続的かつ安定的な還元方針で株主に報いていく、を掲げています。

継続的にお取引いただいている当社グループのお客案件数は、256万件と前期末から2万件増加しました。お客様との接点強化・優遇施策である「TLC会員サービス」の会員数につきましても、49万件と前期末から10万件増加しました。一方、資金調達の低コスト

化、調達が多様化を進め、有利子負債は714億円まで減少しました。

当社グループの業績は、ガスの仕入価格低下に伴う販売価格の引下げを行ったことにより売上高は1,809億円（前期比3.5%減）、営業利益は光コラボレーションサービスのお客様獲得、転用にかかる先行費用の負担により82億円（同8.4%減）、経常利益は82億円（同4.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は35億円（同12.1%減）となりました。

2017年3月期は、IP16 “Growing” の最終年度となります。お客様の快適な生活を総合的にかつきめ細かにサポートする「TLC（トータルライフコンシェルジュ）」として、お客様の生活に欠かせない多彩なサービスをさらに充実させ、IP16 “Growing” の達成に向けてグループ一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ◆ 2016年3月期 連結決算のサマリーについて

2016年3月決算のポイントは、以下の5つです。

1つ目は、売上高は前期比66億円の減収となりました。これはガスの仕入価格低下に伴い、販売価格の引下げを行ったことにより103億円の影響があった一方で、情報・通信・CATV・アクアの各事業で顧客件数の増加により増収となったことによります。

2つ目は、光コラボレーションサービス\*の販促に先行コスト30億円をかけましたが、顧客件数の増加やガス仕入価格値下がりに伴うマージン改善による利益等の22億円の増益で吸収し、営業利益は8億円の減益にとどめ、営業利益・経常利益・当期純利益とも2015年5月の公表値を達成したことです。

※光コラボレーションサービス（光コラボ）

インターネット接続事業者（ISP）が、NTT東西地域会社から光ファイバー回線のサービス卸を受けて、自社のインターネット接続サービスとセットにして利用者へ提供を行うサービスです。

3つ目は、ブロードバンド顧客の光コラボ化が21万5千件進捗し、またガス及びCATVの顧客も増加したことで、全体顧客件数が2万件純増して256万件になったことです。

4つ目は、有利子負債残高が引き続き減少し、ホールディングス化する直前、1,240億円あった残高は714億円まで減少し、財務面の改善が進んだことです。

5つ目は、配当と自社株買いを合わせ、総還元性向100%を実現し、また当初予想利益を上回ったため、ホールディングス化後初の増配（1株あたり年間12円→14円）を決定するなど、株主還元を厚くしたことです。

### ◆ 2015年5月公表の営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも達成

売上高は、1,809億円となりましたが、前期比66億円の減収要因についてはガスの値下げを行った影響によるものです。

営業利益は、82億円となりました。光コラボの先行コストをガスをはじめ各事業の増益で挽回し、前期比8億円の減益にとどめ、経常利益は82億円、当期純利益は35億円となりました。

#### ■ LPガスCP\*の直近3年の推移



※Contact Price: サウジアラビアからの輸入価格

## ■ 2016年3月期 連結業績

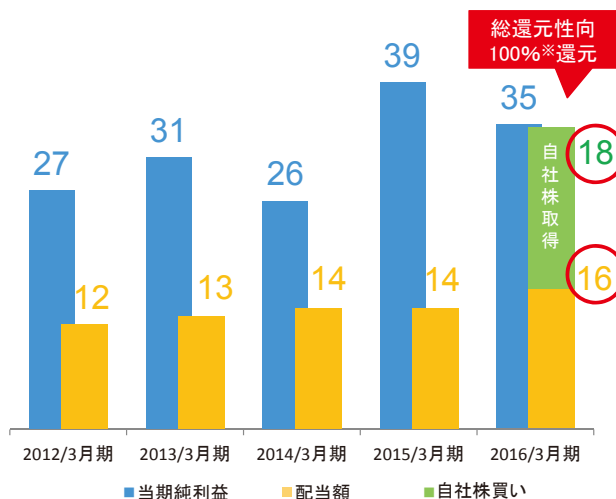
	2015年3月期	2016年3月期	前期比	2015年5月 公表予想
売上高	1,875 億円	1,809 億円	△66 億円	1,922 億円
営業利益	90 億円	82 億円	△8 億円	78 億円
経常利益	85 億円	82 億円	△4 億円	74 億円
当期純利益	39 億円	35 億円	△5 億円	32 億円
1株当たり利益	34.16 円	30.01 円	△4.15 円	28.04 円

### ◇ 総還元性向(配当+自社株買い) 100%を実現

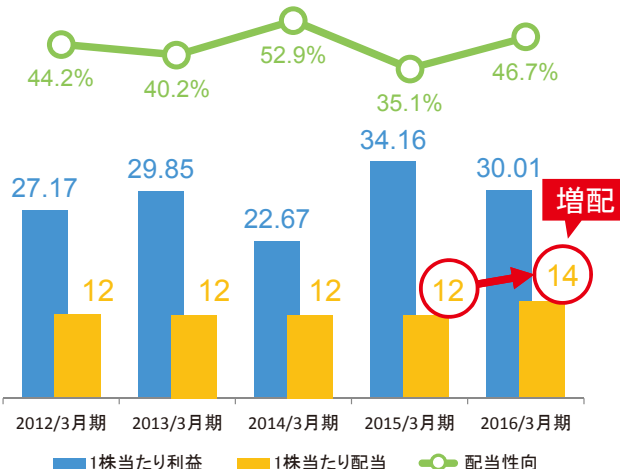
2016年3月期は、資本政策を積極的に展開して、配当と自社株買いをあわせ総還元性向100%を実現しま

した。まず、10月に公表した、総還元性向100%の方針に

当期純利益(億円)と配当額(億円)



1株当たり利益(円/株)・配当金(円/株)と配当性向(%)



※ (配当総額(子会社除く)+自社株買い価格)÷当期純利益=98.35%

沿って、配当以外に18億円(330万株)の自社株買いを実施しました。

3月には、当初予想利益を上回ったことに伴い、1株当たりの配当予想12円を14円とする、ホールディングス化後初の増配を決定しました。

更には、第2四半期末に3,919万株(保有比率25.3%)保有していた自社株につきまして、株主様の将来の希薄化懸念を払拭することを目的に、発行済株式数の10%にあたる1,552万株の消却も実施しました。

## 2017年3月期業績予想

### ◇ 営業利益は過去最高の126億円へ

2017年3月期業績予想は、売上高1,871億円、営業利益126億円、当期純利益62億円とします。

増収増益予想で、売上高は3期ぶりの増収、利益は2期ぶりの増益で、すべての利益が過去最高値を更新す

る大幅な増益となる見込みです。

特に営業利益は43億円の増益で、IP16“Growing”2017年3月期計画の最終年度の営業利益目標126億円を達成します。

## ■ 2017年3月期 連結業績予想

	2016年3月期	2017年3月期	前期比	IP16“Growing” 2017年3月期
売上高	1,809 億円	1,871 億円	+62 億円	2,095 億円
営業利益	82 億円	126 億円	+43 億円	126 億円
経常利益	82 億円	118 億円	+37 億円	118 億円
当期純利益	35 億円	62 億円	+28 億円	62 億円
1株当たり利益	30.01 円	55.13 円	+25.12 円	54.06 円

◇ 光コラボレーションサービスの推進

増益要因で最も大きいものが光コラボです。2015年3月より、ISP部分とNTT光回線部分とを一体として、サービス・サポート・請求をワンストップで提供する「TNCヒカリ(静岡県内)」「@T COMヒカリ(全国)」を開始しました。

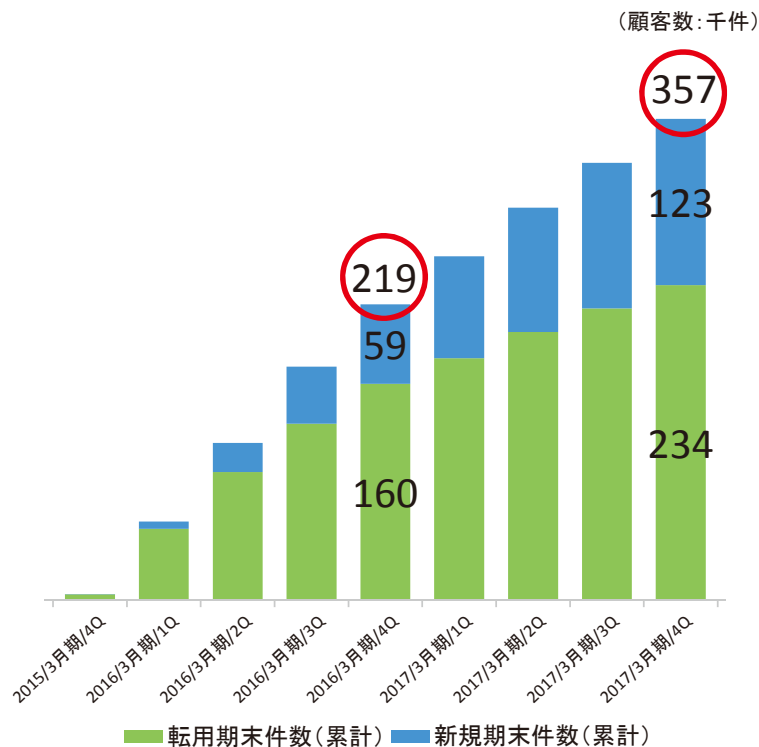
前期は、早期にサービスのご提案をすることを企図して、期末で21万9千件(新規5万9千件、転用16万件)

のお客様にご利用いただいています。

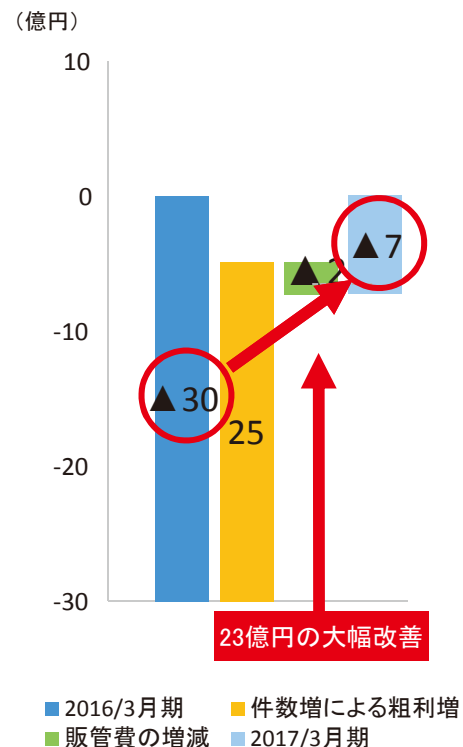
2017年3月期は、期末件数35万7千件(新規12万3千件、転用23万4千件)を見込みます。

前期は先行コスト30億円をかけたが、2017年3月期は、課金件数の順調な増加による増益が見込めますので、営業利益は前期比23億円の大幅改善となります。

新規+転用顧客件数の実績及び見通し



光コラボの営業利益大幅改善



◇ アクア事業は効率重視に転じ黒字化へ

もう一つの大きな増益要因はアクア事業です。

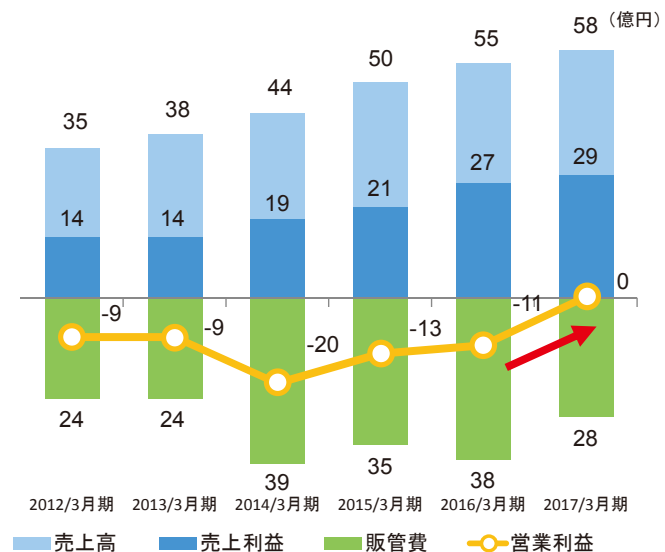
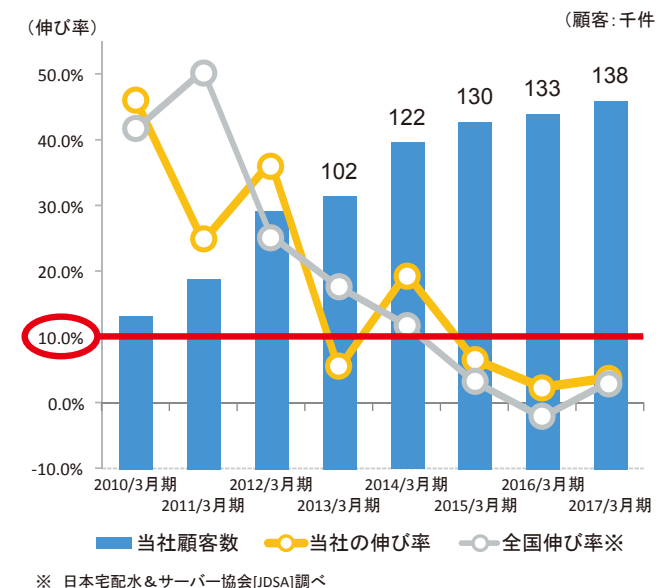
当社は、2007年よりアクア事業に取り組み、市場の伸びを背景に営業エリアを拡大しながら顧客獲得に取り組んでまいりました。

しかしながら、アクア事業を取り巻く環境もここ数年、変化を見せております。これまで2桁成長を続けてきた宅配水市場は、2015年3月期から1桁成長となり、3期連続で1桁成長が続いています。当社グループにおいても、2015年3月期からの顧客伸び率は全国平均を上回るものの、1桁台が続いています。

こうした環境の下、前期は獲得効率が低下し、獲得

コストの負担により、業績の改善に遅れが生じていました。

2017年3月期は、顧客伸び率が鈍化傾向にある市場環境に対応して、効率を重視した顧客獲得への転換を図ります。前期からの顧客件数増加による増益に加えて、獲得効率の高いエリアに営業力を集中的に投入し、さらに販売人員体制の見直しを行うことで、収益改善を進めていきます。これにより、営業利益は前期比11億円の改善となり、黒字化を果たします。

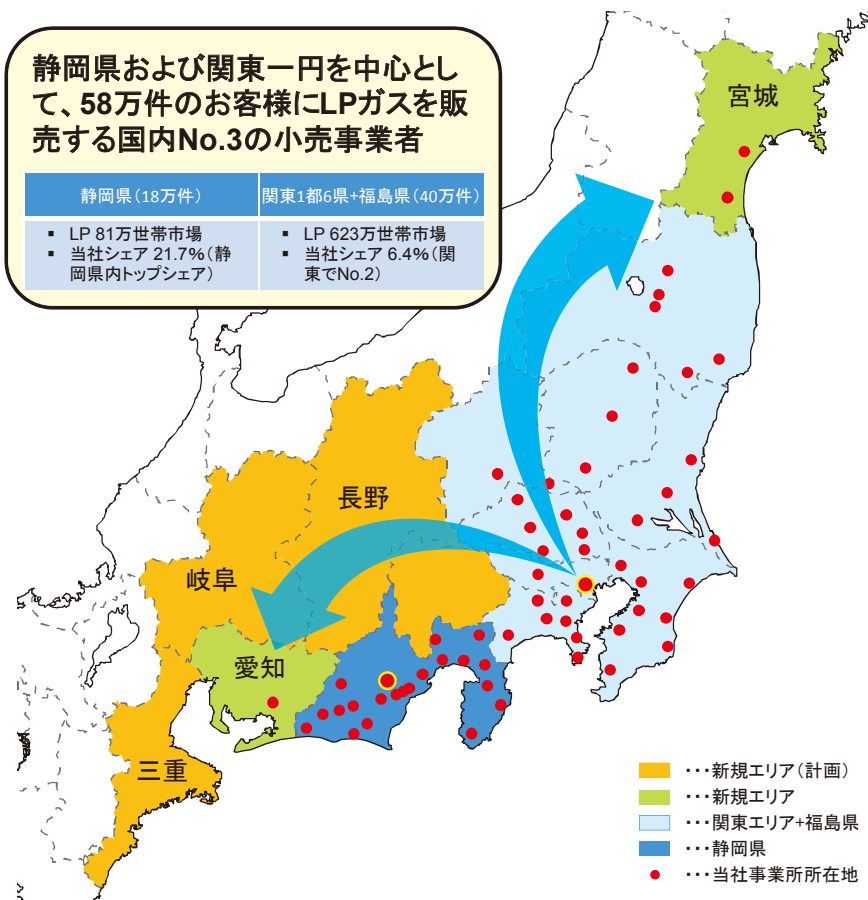




◆ エリア拡大によるガス事業の収益拡大

当社グループは、静岡県および関東一円を中心として、58万件のお客様にLPガスを販売する国内No.3の小売事業者です。前期より、静岡県および関東一円の既存エリアから周辺エリアへ進出しています。

2017年3月期は、三重県、岐阜県に進出しますが、競争が厳しい一方で成長が見込める関東エリアと、利益率が高く拡大余地のある周辺県とあわせ、より安定した収益基盤づくりを進めていきます。今期は4万件の新規登録件数を見込みますが、そのうち新規エリア分は14%程度、5年後には新規エリアのウェイトを30%とし、その時点の顧客件数を、現在の約30%増の80万件(LPガス・都市ガス)とする計画です。



◆ グループ顧客件数は260万件を突破

顧客件数は、主力のガス事業およびCATV事業を中心に顧客純増件数を前期比で倍増(5万件純増)させ、2017年3月末には260万件とする計画です。ガス及び

CATV事業が前期より純増基調に入り、光コラボは今期も約14万件獲得します。

■ グループ顧客件数計画

		2016年3月末	2017年3月末	前期末比
情報通信	ガス(LPガス・都市ガス)	634 千件	650 千件	+16.2 千件
	従来型ISP等	633 千件	499 千件	△133 千件
	光コラボ	219 千件	357 千件	+138 千件
	モバイル	236 千件	237 千件	+1.3 千件
	小計	1,088 千件	1,094 千件	+5.6 千件
CATV		710 千件	730 千件	+20.6 千件
アクア		133 千件	138 千件	+4.9 千件
セキュリティ		18 千件	18 千件	+0.3 千件
合計		2,558 千件	2,604 千件	+46.6 千件

※千件未満四捨五入。情報通信とCATVで通信サービスが重複、合計値からは除外。

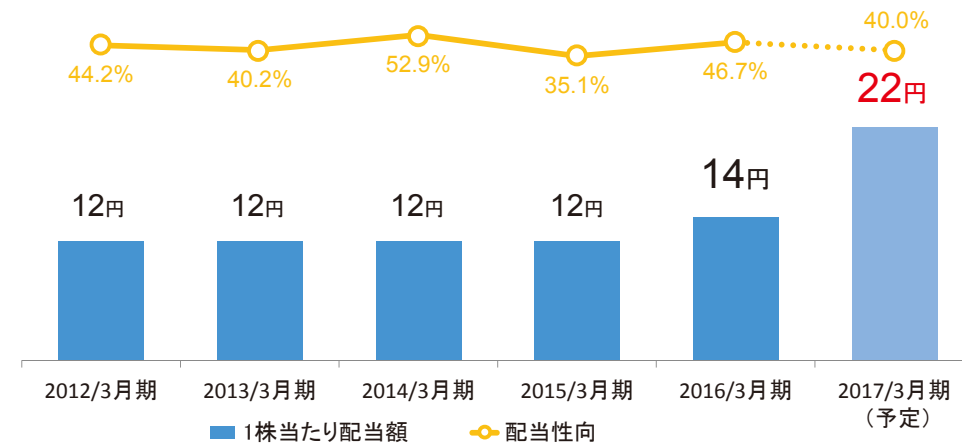
株主の皆様への還元について

◆ 2017年3月期も増配を予定

2017年3月期は、営業利益126億円、当期純利益62億円、1株当たり純利益55.13円(前期の30.01円に比べ80%増)と、過去最高を更新する見通しです。

配当性向40%を目途とする当社の配当方針により、従前の12円/株・年(2016年3月期は2円増配で14円/株・年)から、22円/株・年(中間期11円/株・期末11円/株)への増配を予定しております。

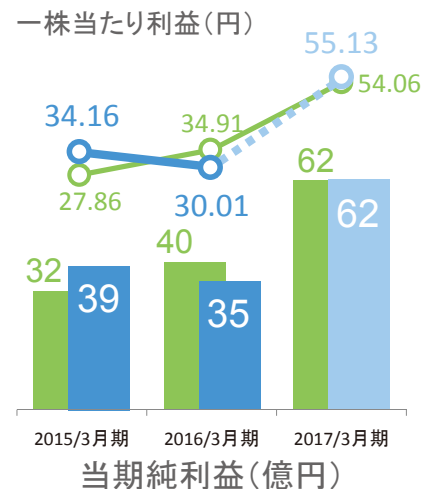
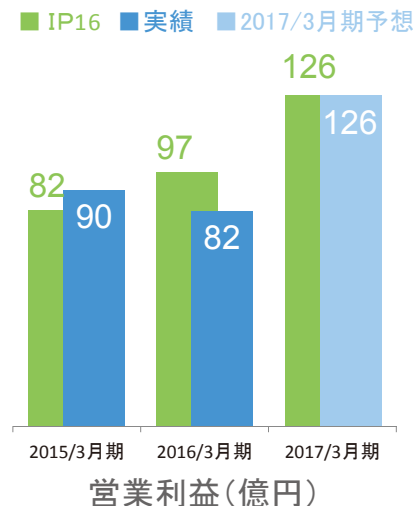
また、2016年3月期に実施しました自社株買いについても、検討してまいります。



# IP16 “Growing” の着地見通しについて

## ◆ 2017年3月期は計画利益を達成

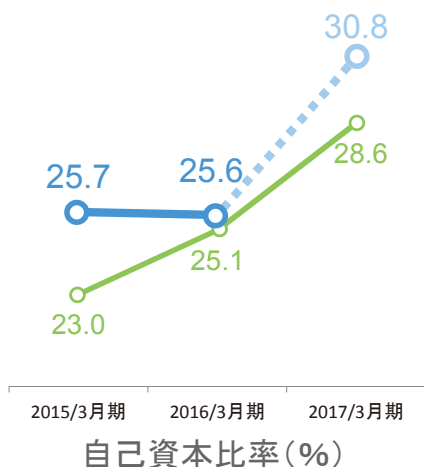
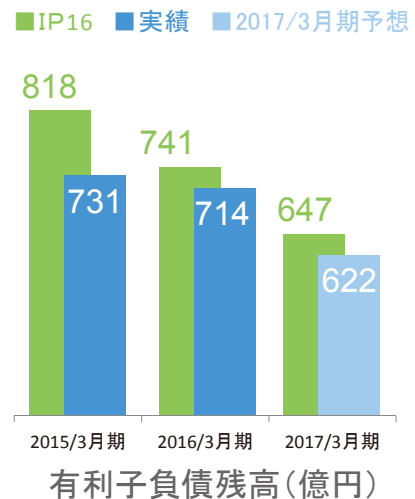
収益力については、IP16 “Growing” には織り込まなかった光コラボの影響も前期限りで、最終年度の2017年3月期は、計画利益を達成し、当期純利益62億円、1株当たり純利益55.13円を見込んでいます。そして前経営計画IP13の課題であった事業収益力の強化を一層進めてまいります。



## ◆ 自己資本比率は30%超まで改善

ホールディングス化直前にあった1,240億円の有利子負債残高は2017年3月期には半減する見込みです。

この有利子負債の削減に加え、資本政策(自己株処分等)や内部留保などにより、自己資本比率はホールディングス化前の7.7%から30%超まで改善する見込みです。



## ◆ 次の成長期に向かって

進行中のIP16 “Growing” は、前経営計画のIP13期間の課題であった「事業収益力強化」を実現する期間であり、最終年度2017年3月期に過去最高値を更新する見通しです。

そして今期一年をかけ2020年までの次期中期経営計画(4年計画)を策定し、当社グループの将来の成長の道筋をつけていきます。

LPガス事業では、2017年3月期に進出するエリア以外に、既に当社グループが事業を展開している長野県(CATV)や、岡山県(情報・通信)、福岡県(建物管理サポート)にも今後エリアを拡大していく計画です。その手法の一つとして、M&Aを積極的に活用していきます。LPガス事業以外でも、都市ガス、情報通信サービス、

CATV事業の成長、また、クロスセルの活性化、TLCサービス拡充の観点からの新たな事業・サービスへの取り組みを生かすことも検討してまいります。

当社グループが取り組む新たなサービス分野としては、人々のライフイベント(出生、就学、就職、退職といった節目)に関わるサービスのほか、とくに医療、教育、農業などといった今後注目されていく産業領域に参入していきたいと考えています。



◆ 株主優待制度について

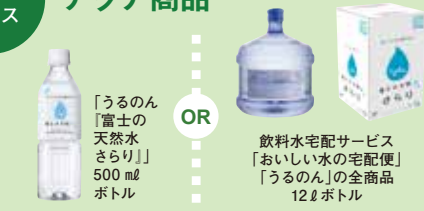



当社では、株主の皆様への日頃の感謝をこめて年に2回株主優待を実施しております。

当社の株主優待制度は、日経トレンディ2015年8月号では「お宝」株主優待ランキング」の第9位、ダイヤモンド・ZAi 9月号では、「桐谷さんの株主優待 目的別ベストチョイス100」食品・飲料部門の第1位に選ば

るなどご好評をいただいております。

3月31日現在及び9月30日現在の株主名簿に記載された1単元株(100株)以上ご所有の株主様を対象に、ご所有株式数に応じて下記の商品からお選びいただけます。

今回対象となる2016年3月31日現在の株主様には、


	100～999株	1,000～4,999株	5,000株以上
<b>A</b> コース <b>アクア商品</b>  <p>「うるのん 富士の天然水 さらり」500ml ボトル OR 飲料水宅配サービス「おいしい水の宅配便」「うるのん」の全商品 12ℓボトル</p>	<b>1,900円</b> 相当 ×1本 OR ×12本	<b>3,800円</b> 相当 ×2本 OR ×24本	<b>7,600円</b> 相当 ×4本 OR ×48本
<b>B</b> コース <b>QUOカード</b> 	500円分	1,500円分	2,500円分
<b>C</b> コース <b>ヴォーシエルお食事券</b> 	1,000円分	3,000円分	5,000円分
<b>D</b> コース <b>グループ会員サービス TLCポイント</b> <a href="http://tlc.tokai.jp/">http://tlc.tokai.jp/</a> 	1,000ポイント	2,000ポイント	4,000ポイント

**の、いずれか1つ**

さらに、各コース共通で

グランディエールブuketーカイ、ブケ東海三島共通


**婚礼10%割引券**  
(割引上限10万円)



**AND**

ヴォーシエル

**お食事20%割引券**  
(12枚つづり)



別封にてご案内状(申込書、各コース共通の割引券を同封)を送付させていただいております。ご案内状に同封の申込書(はがき)にてご希望の商品をお申込みいただきますようお願いいたします。詳細につきましては、

は、ご案内状をご覧ください。

お申込期限	2016年 8月31日
-------	-------------

◆ 当社ホームページリニューアルのお知らせ

本年5月、当社ホームページをリニューアルいたしました。

「分かりやすさ」、「使いやすさ」、「情報の多さ」を充実させ、株主の皆様当社グループのことをより知っていただくことを目指しています。

ホームページでは、本決算、第2四半期決算で実施している決算説明会(機関投資家様向け)の動画コンテンツ、当社グループの沿革や各事業をスライドとナレーションでご説明した「会社案内ビデオ」などを掲載しております。

今後も株主通信ではお伝えしきれないプレスリリース、IR資料など、様々な情報を発信してまいりますので、ぜひご覧ください。

▶ <http://tokaiholdings.co.jp/>





# 会社概要／グループ会社紹介

## ■ 会社の概要 (2016年3月31日現在)

会社名	株式会社 TOKAIホールディングス
設立	2011年4月1日
資本金	140億円
従業員	連結 3,856名
事業内容	エネルギー事業、情報通信事業等を行う子会社等の経営管理及びそれに付帯又は関連する業務
証券コード	3167
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

## ■ 役員 (2016年6月24日現在)

取締役	
代表取締役社長 (CEO)	鴛田 勝彦
代表取締役	真室 孝教
取締役常務執行役員	丸山 一洋
取締役常務執行役員	溝口 英嗣
取締役 (非常勤)	高橋 信吾
取締役 (非常勤)	小栗 勝男
取締役 (非常勤)	福田 安広
取締役 (非常勤)	鈴木 光速
取締役 (社外)	小 林 憲一
取締役 (社外)	菅 根 正弘

監査役	
常勤監査役	村田 孝文
監査役 (社外)	立石 健二
監査役 (社外)	雨 貝 二郎
監査役 (社外)	伊 東 義 雄

### 株主様アンケートのお願い

今後のIR活動の参考にさせていただきたく、アンケートにご協力のほどお願い申し上げます。おひとり様一通のご回答とさせていただきます。

2016年8月31日までに同封の回答用ハガキに質問へのご回答をご記入いただき、ポストへご投函ください (切手は不要です)。

なお、本アンケートは当社ディスクロージャーの充実以外の目的に利用することはありません。

また、ご回答いただいた方には、下記の粗品をご用意しております。回答用ハガキにて、どちらか一方をお選びください。

#### ・オリジナルQUOカード (500円分)

QUOカードを希望された方の中から抽選で1,000名様にプレゼント (QUOカードの当選者の発表は、10月の発送をもって代えさせていただきます)。

#### ・TLCポイント 1,000ポイント (1,000円相当)

TLCポイントを希望された方には、もれなくプレゼント (TLCポイントのプレゼントは、10月を予定しています)。

## ■ TOKAIグループ

### 株式会社TOKAIホールディングス

静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8

### 株式会社TOKAI

静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8

### 株式会社TOKAIコミュニケーションズ

静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8

### 東海ガス株式会社

静岡県焼津市塩津74-3

### 株式会社TOKAIケーブルネットワーク

静岡県沼津市寿町8-28

### 株式会社TOKAIマネジメントサービス

静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8

### 株式会社いちほらコミュニティー・ネットワーク・テレビ

千葉県市原市五井中央東2-23-18

### 厚木伊勢原ケーブルネットワーク株式会社

神奈川県厚木市岡田3050

### 株式会社イースト・コミュニケーションズ

千葉県千葉市緑区あすみが丘1-20-1

### エルシービー株式会社

長野県諏訪市大字四賀821

### 株式会社倉敷ケーブルテレビ

岡山県倉敷市中島2661-1

### 株式会社トコちゃんねる静岡

静岡県静岡市清水区中之郷2-1-5

### 東海造船運輸株式会社

静岡県焼津市小川3899-4

### 株式会社ブケ東海三島

静岡県三島市梅名393-1

### トーカイシティサービス株式会社

静岡県静岡市葵区紺屋町17-1

### TOKAIライフプラス株式会社

静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8

### 株式会社エナジーライン

静岡県静岡市葵区常磐町2-6-8

### 株式会社TOKAIホームガス

東京都港区海岸1-9-1 浜離宮インターシティ

### 拓開 (上海) 商貿有限公司

上海市黄浦区西藏中路656号美華大樓507室

### TOKAI MYANMAR COMPANY LIMITED

Rm.3B, University Paradise Condo No.441, New University Avenue Street, Bahan T/S, Yangon Myanmar

# 株主の状況 (2016年3月31日現在)

## ■ 株式の状況

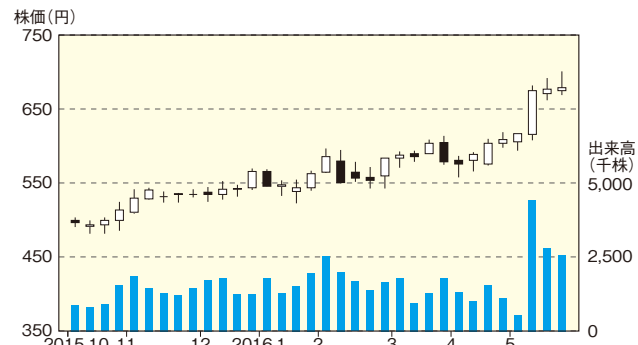
会社が発行する株式の総数	300,000,000 株
発行済株式総数	139,679,977 株
1単元の株式数	100 株
株主数	58,538 名

## ■ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	出資比率
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	7,559,820	5.41%
鈴与商事株式会社	5,799,700	4.15%
東京海上日動火災保険株式会社	4,986,887	3.57%
株式会社静岡銀行	4,065,527	2.91%
TOKAIグループ従業員持株会	3,887,201	2.78%
三井住友信託銀行株式会社	3,816,000	2.73%
株式会社みずほ銀行	3,588,577	2.57%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,327,400	2.38%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,905,000	2.08%
アストモスエネルギー株式会社	2,724,848	1.95%

※この他に当社は自己株式26,488,259株を保有しております。

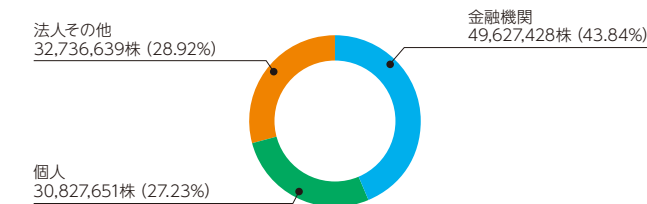
## ■ 株価の推移



※株価の推移は週足です。

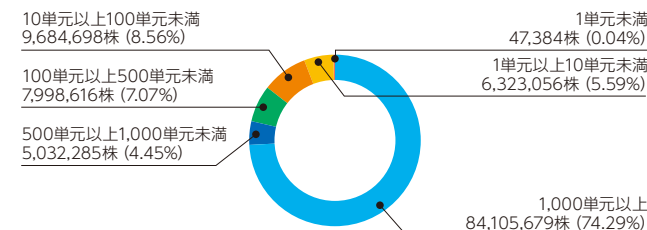
## ■ 株式分布状況

### 所有者別分布状況



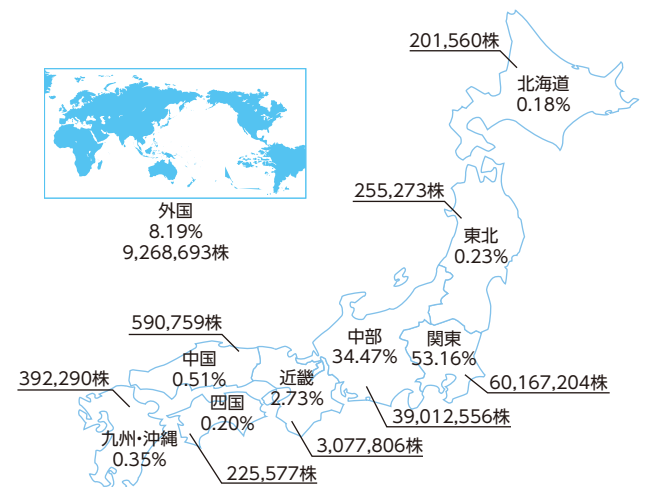
※自己株式26,488,259株は、所有者別分布状況から除かれております。

### 所有株式数別分布状況



※自己株式26,488,259株は、所有株式数別分布状況から除かれております。

## ■ 地域別株式分布状況



※自己株式26,488,259株は、地域別分布状況から除かれております。